

千波

富山テレビ放送開局 50 周年記念
富山県水墨美術館開館 20 周年記念

美を謳う 中島千波の世界

波

日本画の革新に真摯に取り組み続けている画家・中島千波（1945年長野県生まれ、東京在住）の画業を紹介する展覧会を開催します。

中島千波は第二次世界大戦後の激変する社会に反応し、現代的な欧米絵画の影響を受け「窓」（1969年）に代表される初期作品を描きます。1970年代には人物の内面や感情を描いた「衆生」連作が高い評価を得て、現在の「在 existence」に至るまで人間存在の探究をライフワークとして《人物画》の大作に挑み続けています。また1980年代からは樹木花、1990年代からは雄大な山にも取り組み、日本各地の樹齢を重ねた古木の桜や世界の名山を訪ねる旅を重ね、桜や山の《肖像画》として屏風絵の制作発表を続けて、今日、桜を描く画家として最も著名です。そして華麗な花々と愛らしい玩具を組み合わせて描く《静物画》は、画家自身が最も楽しみながら紡ぎだす夢の世界といえるでしょう。本展では、日本画であり続けながら伝統に安住せず、常に新しい時代の表現を求めて実験と革新を推し進め、独創的な美の世界を謳い続ける中島千波の50年余に及ぶ画業をたどり、代表作の数々を紹介いたします。

関連行事

中島千波ギャラリートーク&サイン会

5月23日(木) 午後2時～企画展示室

6月22日(土) 午後2時～映像ホール及び企画展示室

※申込不要・展覧会観覧券が必要です



秋季紅葉図 2010年 おぶせミュージアム・中島千波館



祭田の櫻 2009年 おぶせミュージアム・中島千波館



窓 1969年 横浜美術館



衆生・視 1979年 山種美術館



かといあの季節 1993年 北澤美術館



峻嶺マッターホルン 2014年 郷さくら美術館



existence-mummy (無明) 17.9 L・R 2017年 おぶせミュージアム・中島千波館



北信秋果豊穰 1994年 おぶせミュージアム・中島千波館

2019年5月23日(木)ー7月7日(日)

観覧料 一般 1,200(1,000)円 大学生 1,000(700)円 前売一般 1,000円
※()内は20人以上の団体料金です。※この料金で常設展も観覧できます。
※小・中・高校等の児童・生徒及びこれらに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は観覧無料です。
【前売券取扱所】富山県水墨美術館、富山県美術館、ローソンLコード：L:52797
アーツナビ（富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール）

会期中の休館日 月曜日
会場 富山県水墨美術館 展示室1・2
開館時間 午前9:30～午後6:00 入室は午後5時30分まで
常設展示 近代水墨画の系譜／下保昭作品室
館内施設 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子500円) カフェ「北斗」
ミュージアムショップ「風花」 ※展示室以外はフリースペース（入場無料）です。

交通のご案内
●富山駅南口から「市内電車」大学前行「富山トヨペット本社前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 [ぐるっとBUS] ②乗場から北西周回ルート「水墨美術館」下車すぐ [地鉄バス] ③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分
⑦乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩約10分 [タクシー] 約10分
●富山空港から [タクシー] 約25分 ●北陸自動車道富山IC・富山西ICから [自動車] 約20分
●駐車場：乗用車165台、バス7台 ※ご利用は無料です。



富山県水墨美術館

水墨美術館 検索

〒930-0887 富山市五福 777
TEL(076)431-3719 FAX(076)431-3720
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

次回予告 夏の美術館へようこそ「幽霊と地獄」 2019年7月25日(木)ー9月1日(日)